

くるめ支え合うプランの進捗状況について

1 久留米市社会福祉協議会及び久留米市の取組み

より多くの市民にくるめ支え合うプランの理念を届けるため、プランの概要版、わかりやすい版、英訳版、動画を作成。

2 久留米市社会福祉協議会の取組み

(1) 市民への周知

①くるめ支え合うプラン及び概要版の配布

校区コミュニティ組織や校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会等に対し、くるめ支え合うプラン及び概要版を配布し、説明を実施。

また、支え合い推進会議の委員等に対しても概要版を配布し、校区福祉活動計画の策定について説明を実施。

②説明会の実施

依頼に応じて、説明会等を7回（令和3年1月末時点）実施。

（校区社会福祉協議会、ふれあいの会、支え合い推進会議 等）

③学習会の開催

校区社会福祉協議会連合会のブロック別学習会を、くるめ支え合うプランと校区福祉活動計画をテーマに開催。

(2) 校区福祉活動計画づくりの支援

次期校区福祉活動計画づくりを支援。令和2年度中に完成（令和3年度施行）予定は1校区、現在策定作業中の校区は8校区。その他の校区に関しては、令和4年度までの完成を目途に、働きかけを実施。

なお、校区社会福祉協議会のみでの策定にとどまらず、支え合い推進会議に意見を求める校区や、支え合い推進会議で策定する校区もある。

【策定状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
校区数	1校区（予定）	13校区（予定）	32校区（予定）

【策定参画団体（例）】

- ・ 校区コミュニティ組織 ・ 自治会 ・ 校区社会福祉協議会
- ・ 民生委員児童委員協議会 ・ ふれあいの会 ・ 老人クラブ ・ 子ども会
- ・ 人権啓発推進協議会 ・ 環境衛生連合会 ・ 小学校、中学校、PTA
- ・ 幼稚園、保育園

3 久留米市の取組み

(1) 市民への周知

- ①WEBコラム「みんなで生きる、みんなが生きる」の配信（14話）
- ②広報くるめシリーズ「みんなで生きる、みんなが生きる」の掲載（全6回）
- ③地域福祉啓発ポスター・チラシの作成・配布
- ④新聞やラジオ、研修会を活用したPR

(2) 重層的支援体制整備事業の実施に向けた準備

令和3年度から、重層的支援体制整備事業（相談支援事業、参加支援事業、地域づくりに向けた支援事業等）を実施予定。

(参考) 成果指標の状況

<全体>

○地域での支え合いや助け合いが充実していると感じる市民の割合

H31・R1	R2	…	R7（目標）
64.1%	-	…	70.0%

<関係を豊かにする>

○地域での見守り訪問活動件数（ふれあいの会による訪問活動件数）

H30	H31・R1	R2	…	R7（目標）
226,650件	241,612件	-	…	296,000件

<寄り添う体制を整える>

○生活自立支援センターの新規相談受付件数

H30	H31・R1	R2	…	R7（目標）
1,020件	1,131件	-	…	1,020件

<地域をともに創る人を育む>

○助けを求めることができる人がいる市民の割合

H31・R1	R2	…	R7（目標）
81.3%	-	…	87.0%

○困っている人の相談にのることができる市民の割合

H31・R1	R2	…	R7（目標）
23.7%	-	…	29.0%